

人権擁護委員って どんな人?

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間のボランティアの方々で、現在、約14,000名の人権擁護委員が全国の各市町村に配置されています。人権擁護委員は、法務局と連携して、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権侵害の被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような人権啓発活動を行っています。

人権擁護委員のき章

人権擁護委員が身に着けるき章(バッジ)のデザインは、外枠が「かたばみ」の葉で、中が菊型の「人」の字です。このデザインには、地を這って広がる「かたばみ」のように、人権尊重思想が広がるようにとの願いが込められています。



き章



かたばみ

法務省人権擁護局ホームページ

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/index.html>



全国人権擁護委員連合会ホームページ

<https://zenrenjinken.org/>



- 差別を受けた
- 暴行・虐待を受けた
- セクハラ・パワハラを受けた
- いじめ・虐待を受けた
- インターネットによる誹謗中傷など

気軽にご相談ください。

秘密は守ります。相談は無料です。

みんなの人権110番

0570-003-110

子どもの人権110番(通話料無料)

0120-007-110

女性の人権ホットライン

0570-070-810

インターネット人権相談受付窓口



パソコン・スマホ・携帯電話共通

インターネット人権相談

検索

SOS-eメール



<https://www.jinken.go.jp/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

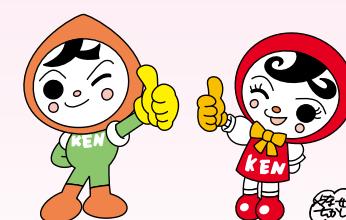
人権擁護委員

あなたの街の相談パートナー

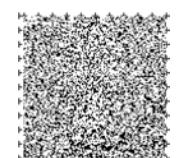


みんなが
幸せな
明日へ

6月1日は人権擁護委員の日です。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん



法務省人権擁護局
全国人権擁護委員連合会

この冊子には、音声コードが
印刷されています。専用の
読み上げ装置で読み取ると、
音声で聞くことができます。

相談

地域の皆さんからの
人権に関する相談に応じています。

様々な相談方法があります

●面談

- ・常設相談所
(法務局・地方法務局又はその支局)
- ・特設相談所
(市町村役場、デパート、社会福祉施設等で隨時開設)

●電話*

●インターネット人権相談*

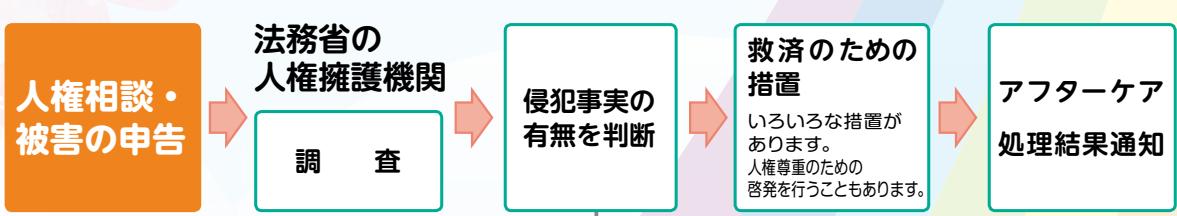
*裏面をご覧ください。

子どもの人権SOSミニレター

電話では相談しにくい、勇気がいるなどといった、子どもたちの気持ちに配慮した手紙による人権相談です。全国の小・中学生に配布しています。人権擁護委員は、届いた手紙から子どもたちの想いを読み取って返事を書くなど、子どもたちの心に寄り添い、事案に応じて、子どもたちの声を救済に結び付ける取組を行っています。



被害者救済の流れ



人権擁護委員は こんな活動を しています

救済

「人権を侵害された」という被害者からの申告などを受け、法務局職員と協力して、調査処理に当たります。人権相談から救済手続を開始する場合もあります。

啓発

人権の大切さを多くの方々に知っていただき、また、考えていただくために、様々な活動を行っています。

人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることを通じて、「命の大切さ」や「相手への思いやり」の心を育むことを目的に活動をしています。



人権教室



いじめなどについて考える機会を通じて、相手への「思いやり」の大切さを伝えています。



全国中学生人権作文コンテスト

人権問題についての作文を書くことを通じて、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施しています。

地元企業や施設での講演

企業や社会福祉施設等において、講師として、人権尊重の重要性を伝えています。



街頭啓発・啓発イベント

各地域で様々な啓発活動を行っています。

